＜様式９-３＞

|  |  |
| --- | --- |
| 採用年度 | 平成　　年度 |
| 資　　格 | SPD PD RPD DC2 DC1 |
| 系別・領域 |  |
| 受付番号 |  |

特 別 研 究 員 の 就 職 状 況

（調 査 票）

　　　　　　　　　　　　　平成　　　年　　　月　　　日

特別研究員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　フリガナ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　登　録　名

|  |  |
| --- | --- |
| 問１）　採用終了後（辞退後）の職業等について、該当するものを○で囲んでください。  　　　①　研究職　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②　非研究職等（職務として研究を遂行しないもの。学生を含む。）  　　　　　　　　　　　　　　　問２へ　　　　　　　　　　　　　　　　　問３へ  ※以下左側のみ回答　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ※以下右側のみ回答 | |
| 問２）　問１で「①　研究職」を選択した方にお尋ねします。  問２－１：  勤務先名を記入してください。  勤務先名　※　本務先一箇所を記入してください。  （機関名および部局名・部署名）  [ ]  勤務先分類（該当するものを○で囲んでください。）  ①　国立大学法人  ②　公立大学  ③　私立大学  ④　大学共同利用機関法人  ⑤　高等専門学校  ⑥　海外の大学・研究機関等  ⑦　国公立（独法含む）の研究機関等  ⑧　財団等研究法人  ⑨　民間企業  　⑩　その他  問２－２：  雇用形態（該当するものを○で囲み、③については、任期等について記入してください。）  　①　常勤研究職（雇用期間の定めなし）※1  ②　常勤研究職（テニュアトラック）  ③　常勤研究職（任期付）  任期：　　　年　　月から　　　年　　月まで  更新： 有　(最長　　年間)　・　無  ④　ポスドク・フェローシップ  ⑤　週３０時間未満研究に従事する職（非常勤等）  職　名（該当するものを○で囲んでください。「その他」の場合は具体的な職名を記入してください。）   1. ～③と回答した方】   **（大学・大学共同利用機関法人・高等専門学校）**  Ⅰ．教授  Ⅱ．准教授  Ⅲ．講師  Ⅳ．助教  Ⅴ．助手  Ⅵ．研究員  Ⅶ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　）  **（研究機関・民間企業）**  Ⅷ．ＰＩ(Principal Investigator)※2  Ⅸ．その他の研究員等（　　　　　　　　　　　　）  【④と回答した方】  Ⅹ．ポストドクター ※3  （雇用財源名：　　　　　　　　　　　　　　　　）  ＸＩ．フェローシップ※日本学術振興会特別研究員、海外特別研究員を含む。  （制度名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ⅩⅡ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）  【⑤と回答した方】  ⅩⅢ．非常勤講師  ⅩⅣ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）  問２－３：  特別研究員として研究を行った経験は研究職へのキャリアパスに役立ちましたか。該当するものを○で囲んでください。  ①　非常に役立った  ②　役立った  ③　どちらかと言えば役立った  ④　どちらとも言えない（理由を記入してください。）  ⑤　役立たなかった（理由を記入してください。）  ④、⑤の理由  問２－４：  問２－３で①～③と回答した方はどのように役立ったのか、該当するものを○で囲んでください。（複数回答可）  　①　研究能力を身に付けられた  ②　現在の研究につながる基礎的研究ができた  ③　自分の研究テーマの研究に専念できた  ④　経済的な不安無く研究できた  ⑤　海外で研究を行う機会が得られた  ⑥　研究業績をふやせた  ⑦　人脈が広がった  ⑧　研究職への就職にあたり役立った  ⑨　採用されなければ博士課程に進学しなかった  ⑩　その他 （　　　　　　　　　　　　　　　　　）  問２－５：  　その他、制度等に対して意見・要望等がありましたら自由に記入してください。  ※1.「常勤研究職」であるかどうかの基準（問２－２雇用形態）  本調査では、概ね週３０時間以上研究に従事している者を「常勤研究職」とします。雇用契約上、非常勤職員に分類される場合であっても、週３０時間以上研究に従事している場合には、「常勤研究職」として回答してください。  ※2．PI(Principal Investigator)であるかどうかの基準（問２－２職名（研究機関・民間企業）Ⅷ）  所属組織によって基準が異なりますので、自らが研究チームを率いるリーダーかどうかといった観点で判断してください。  例：主任研究員、ユニット長、グループ長など  ※3．ポストドクターの雇用財源名の記入例（問２－２職名　Ⅹ）  例：科学研究費助成事業、戦略的創造研究推進事業、環境研究総合推進費、戦略的イノベーション創造プログラム、奨学寄附金、共同研究費、所属研究機関の運営費　など（具体的なプログラム名称等を回答してください。） | 問３）　問１で「②　非研究職等」を選択した方にお尋ねします。  問３－１：  勤務先名を記入してください。  （学生の場合は所属大学名等を記入してください。）　[ ]  問３－２：  職種について、該当するものを○で囲んでください。「その他」の場合は、具体的な職名を記入してください。  ①　専門職  Ⅰ．医師  Ⅱ．弁護士  Ⅲ．弁理士  Ⅳ．サイエンスライター  Ⅴ．学芸員  Ⅵ．特許審査官  Ⅶ.コンサルタント  Ⅷ.その他［　　　　　　　　　　　　　　　　］  　②　教育職  Ⅰ．大学等高等教育機関  Ⅱ．高等専門学校  Ⅲ．高校  Ⅳ．その他[　　　　　 ]  　③　技術職  Ⅰ．民間企業の製品開発部門、工場部門等  Ⅱ．大学・研究機関のテクニシャン、研究補助職  Ⅲ.その他［　　　　　　　　　　　］  　④　研究支援職  　　Ⅰ．大学事務職員  Ⅱ．研究機関事務職員  Ⅲ．ＴＬＯ  Ⅳ．産学連携コーディネーター  Ⅴ．ファンディングエージェンシー  Ⅵ．その他[ 　　　　　　　　 ]  ⑤　経営者・役員等  　　Ⅰ．民間企業（※ベンチャー創業を除く）  Ⅱ．ベンチャー創業  Ⅲ．その他[　　　　 ]  　⑥　事務職・営業職・その他  　　Ⅰ．国の機関  　　Ⅱ．地方公共団体  　　Ⅲ．民間企業  　　Ⅳ．独立行政法人  Ⅴ．財団  Ⅵ．ＮＰＯ  Ⅶ．その他[　　 ]  　⑦　学生  　　Ⅰ．研究生、研修生  Ⅱ．大学院生  Ⅲ．国外留学  Ⅳ．その他[　　 ]  　⑧　パート・アルバイト  ⑨　その他[ ]  問３－３：  特別研究員として研究を行った経験は現在のキャリアに役立ちましたか。該当するものを○で囲んでください。  ①　非常に役立った  ②　役立った  ③　どちらかと言えば役立った  ④　どちらとも言えない  ⑤　役立たなかった  問３－４：  問３－３で①～③と回答した方はどのように役立ったのか、④、⑤と回答した方は役立たなかった理由を記入してください。  問３－５：  現在、研究職ではなく非研究職等に就いていますが、研究職への就職を目指すに当たっての障害や困難な状況等について、あてはまると思う番号（①～⑫）の横に最大３つまで、１～３の順位を記入してください。（１つ又は２つのみでも構いません。）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | **順位(3つ)**  **（回答欄）** |  | 事由 | |  | ① | 任期無ポストが少なく、任期付ポストが多い | |  | ② | 研究職のポストが少ないこと | |  | ③ | 研究職に応募はしたが採用に至っていない | |  | ④ | 現職等が多忙で研究業績を積むことができない | |  | ⑤ | 経済的理由 | |  | ⑥ | 結婚・出産・育児・介護 | |  | ⑦ | 年齢 | |  | ⑧ | 科研費応募資格が認められない | |  | ⑨ | 博士の学位が取得できない | |  | ⑩ | 特に障害等はない | |  | ⑪ | 積極的に非研究職を志望 | |  | ⑫ | その他 |   問３－６：  その他、制度等に対して意見・要望等がありましたら自由に記入してください。 |